



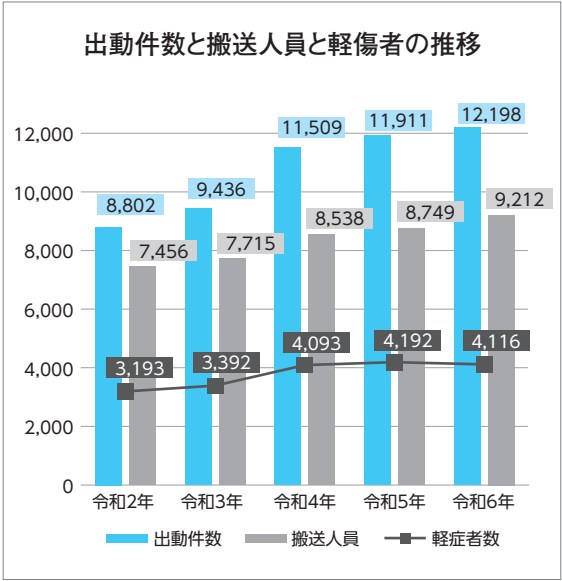
救急車の適正利用を ～助かる命を救うために～

救急車は命を守るための大切な共有財産です。いつ、誰が使うかで助かる命が変わります。軽いけがや緊急性の低い症状は公共交通手段や自家用車、民間救急などの別の手段を検討してください。迷ったときは専門相談窓口にもまずお電話を。地域の救急体制を守るため皆さまの協力をお願いします。

救急出動件数と搬送人数が 過去最多を更新しました

本市消防本部では、平成29年4月1日から常時6台の救急車を稼働させ、日々の救急要請に対応しています。令和6年の救急出動件数は12,198件、搬送人員は9,212人で、ともに過去最多を記録しました。

これは1日あたり約33件の救急出動があり、令和2年と比べると約1.4倍も増加しています。救急出動が重なると、近くで待機している救急車が対応できず、遠方から別の車両が駆けつけたりするケースが増え、助かる命が助からなくなる恐れがあります。



救急搬送の約半数は軽症者です

令和6年に救急搬送された人数のうち、約44.6%が軽症でした。救急出動件数が増加しており、通報から現場到着の平均時間が11分11秒と年々遅くなっています。

明らかに軽いけがや、症状が軽く緊急性のない場合は、公共交通機関や民間救急、自家用車の利用を検討してください。

通報から現場到着までの所要時間	
令和2年	9分35秒
令和3年	9分43秒
令和4年	10分56秒
令和5年	10分50秒
令和6年	11分11秒

判断に迷ったら電話相談や 救急受診アプリを活用しましょう

自分や身近な人が病気やけがをして、救急車を呼ぶか迷ったときは、「救急安心電話相談 #7119」や「こども急病電話相談 #8000」、総務省消防庁が提供している全国版救急受診アプリ「Q助」を活用しましょう。

■救急安心電話相談（#7119）・こども急病電話相談（#8000）

専門の看護師や相談員が症状を聞き、適切な対応や受診の緊急度について助言してくれます。特に小児の急変では#8000が利用しやすく、保護者の不安軽減にも役立ちます。

救急安心電話相談 ▶相談時間 平日・土曜日・・・午後6時～翌日午前8時、日曜日・祝日・振替休日・・・午前9時～翌日午前8時 ▶連絡先 局番なしの#7119（ダイヤル回線、光電話からは☎03-6810-1636）

こども急病電話相談 ▶相談時間 毎日午後7時～翌日午前8時 ▶連絡先 #8000（ダイヤル回線、IP電話、光電話からは☎043-242-9939）

■全国版救急受診アプリ「Q助」

該当する症状などを画面上で選択していくと、緊急度に応じた必要な対応が表示されます。その後、医療機関や受診手段の検索を行うことができます。

緊急時に備えて、下のコードよりダウンロードしておきましょう。



▲Google Play



▲App Store

民間救急を活用しましょう

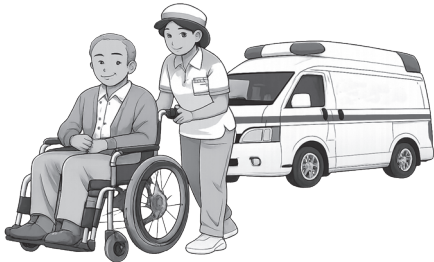
救急車（119番）を利用するほどではないと判断して、病院に行きたいときなどは、患者等搬送事業（民間救急）を活用しましょう。本市消防本部では、市内1事業者を患者等搬送事業（民間救急）として認定しています。

詳しい事業内容や費用などは、電話か下のコードから直接事業者へお問い合わせください。民間救急は、救急車とは異なり応急手当のみで、緊急走行や医療行為は行いません。



こんな時にご利用ください

- 入院・退院・通院や一時帰宅など病院や自宅への移動に
- 救急車（119番）を利用するほどでもない判断して、病院に行きたいとき
- リハビリテーションや家族と一緒に小旅行に出かけるとき



この特集のお問い合わせは
消防本部警防課
☎459-7804へ

募集

農業委員・農地利用最適化推進委員

①農業委員、②農地利用最適化推進委員を募集します。募集要項と申込用紙は、農政課、農業委員会事務局で配布しています。市ホームページからもダウンロードできます。

▼資格 ①農業に関する識見を有し、農地等の利用の最適化の推進に関する事項その他農業委員会の所掌に属する事項に適した職務を適切に行うことのできる人、②農地等の利用の最適化の推進に熱意と識見を有する人 ▼募集人数 ①14人、②13人（第1区（大和田区域）3人、第2区（睦区域）5人、第3区（阿蘇区域）5人） ▼任期 ①7月20日（月）から3年間（②は市ホームページ掲載） ▼主な職務 ①毎月実施する農業委員会総会での審議、農地等の利用の最適化の推進、法人化・その他農業経営の合理化・農業一般に関する調査及び情報提供など、②担当区域における農地等の利用の最適化を推進するための活動（担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消及び新規参入の支援）など ▼報酬 ①月額4万8000円（会長は5万3000円）、②月額4万1000円 ▼申し込み 1月15日（木）～2月16日（月）午後5時必着で、推薦または応募の書類を①は農政課、②は農業委員会事務局へ持参または郵送 ▼問い合わせ ①農政課☎（421）6763、②農業委員会事務局☎（421）6793（農政課）

やちよブランドアクション2025ブランド決定

八千代商工会議所と八千代市では、市のイメージアップにつながる製品などを募集し、「やちよブランドセレクション」として認定しています。2025年度は工業製品、民芸品等を募集し、8品を認定しました。その中から、一般投票および認定委員会による審査の結果、京成バラ園芸（株）の「ハンドクリーム夢香」がグランプリに輝きました。

本製品は、京成バラ園芸作品種「夢香」の素晴らしい香りを忠実に再現したハンドクリームです。しっとりしつつも、さらっとしたつけ心地で、べたつかず日常使いにも適しており、ローズガーデンで体感した香りや感動をそのまま自宅に持ち帰ることが出来ます。その他に、東洋佐々木ガラス（株）千葉工場の「八千代窯」、mon petit jardinの「八千代で育てたお花を使った季節のフラワーブーケ」、（有）マズダゴルフの「スタジオウェッジM425SW」、楽花星園の「楽花星園名画Tシャツゆらゆら橋#ぴーちゃん」、（株）サン・福介家の「SDパネル」、（有）小西屋の「ボトル彫刻」、NPO団体八千代のいすみ会の「八千代市産竹炭」がやちよブランドセレクション認定品に選ばれました。認定品の目印はやちよのシールです。詳細は、下のコードから八千代商工会議所ホームページへ。お問い合わせは、同会議所☎（483）1771へ。（商工観光課）

